経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成 25 年 5 月 9 日

アジア太平洋地域における
国際産業ネットワークの強靭性（Value Chain Resilience）
に関する調査を APEC で開始します

近年、国際的な貿易や投資の増加により、国と国との相互依存関係が深化する中で、1 つの事業拠点や物流・商流上の 1 地点で起こった事象が、一企業や一国に留まらず、国境を超えて地域経済全体に深刻な影響を及ぼす事例が高くなっています。

このような状況を念頭に置きつつ、本年 4 月 20～21 日に開催された APEC 貿易担当大臣会合（MRT）においては、アジア太平洋地域の貿易・投資の国際産業ネットワーク（ヴァリュー・チェーン）の強靭性（Value Chain Resilience）に対する重要性を閣僚間で認識を共有し、我が国の提案により、APEC として、ヴァリュー・チェーンの強靭性に係る定量分析調査を開始することとなりました。

こうした国際的な生産・ビジネス・ネットワークにおけるリスクを定量的に分析し、公開情報としていくのは、世界で初めての試みとなります。

1. 背景

(1)「システミック・リスク」の出現

近年、国境を超えた生産・供給ネットワークの深化に伴い、一地点における事象が貿易・投資等を通じた国際的な経済活動や産業ネットワーク（ヴァリュー・チェーン）全体のシステムを途絶させ、ヴァリュー・チェーンで経済・社会活動を営んでいる一連の企業や組織など全体のシステムを途絶させてしまうリスクが、これまでになく高まっています。

(2)リスクの質的な変化

また、昨今の世界経済の成長鈍化、新興国における成長のひずみの顕在化（格差問題、環境問題等）などを受け、国境を超えた企業活動を取り巻くリスクは、質的にも大きく変化しています。

(3)一企業、一国でリスク管理することの困難性

さらに、こうした新たなリスクの高まりは、一企業や一国の個別の対応では対処しきれない要素を多分に含んでいます。

2. APEC における取組

(1)APEC 貿易担当大臣会合における閣僚レベルでのコミットメント

こうした状況の下、相互に結びつき、複雑化している国際産業ネットワーク上のリスク(ヴァリュー・チェーン・リスク)に共同で対処するべく、4 月 20～21 日に開催された APEC 貿易大臣会合において、ヴァリュー・チェーン強靭性の重要性について閣僚間で共有されるとともに、我が国の提案により、APEC として、アジア太平洋地域の国際産業ネットワークの強靭性(Value Chain Resilience)を定量分析する調査を開始することに合意しました。今後、APEC に付属している政策シンクタンクである「ポリシー・サポート・ユニット(PSU)」が調査を実施する予定になっています。

本調査は、APEC 参加国・地域(21 カ国・地域)等のヴァリュー・チェーン強靭性を、国際統計を活用しながら指標化する調査です。当該調査の結果は、各国・地域が、ヴァリュー・チェーンの強靭性の重要性を理解し、また、強靭性向上のための政策協力を推進するために用いられる予定です。

(参考)APEC 貿易担当大臣会合・閣僚声明(抜粋)

【原文】

44. We share the importance to enhance value chain resilience, and to advance work to establish more interconnected and resilient APEC region. (略)

【仮訳】

パラ 44 我々(APEC 貿易担当大臣)は、ヴァリュー・チェーンの強靭性を向上させること、及びより相互の結びつきを深め、強くしなやかなアジア太平洋地域における経済関係を構築するための作業を進めていくことについて、それらの重要性に対する認識を共有する。(略)

(2)APEC における調査の手法

以下の手法により、調査が開始される予定です。

①サプライ・チェーン(国際物流・供給網)と、投資・事業拠点における生産・購買・販売活動等の 2 つを、不可分一体の一要素(ヴァリュー・チェーン)と定義。

②ヴァリュー・チェーン上のリスクを、6 つのリスク・カテゴリーごとに細分化。

【6 つのリスク・カテゴリー】

（a） 自然災害リスク（Natural Disaster Risks）
（b） 市場リスク（Market Risks）
（c） 地政学的リスク（Geopolitical Risks）
（d） インフラ・リスク（Infrastructure Risks）
（e） 地理的リスク（Geographical Risks）
（f） 規制・政策リスク（Regulatory and Policy Risks）

③当該 6 分野に関連する、国際的に信頼ある統計（※国連、世銀、IMF 等の国際機関統計等）から、データを収集し、これらに一定のウェイトづけをしながら、6 つ の分野ごとのリスクを算出して、総合的にヴァリュー・チェーン強靭性を指標化。（ヴァリュー・チェーン・強靭性指数の算出）

3. 経済産業省による先行調査（結果概要）

APEC における調査プロジェクトの実施に先立ち、経済産業省としては、株式会社日本総合研究所の協力を得て、ヴァリュー・チェーン・リスクのカテゴリー（分類）の考え方を整理するとともに、オープン・ソースの信頼性のある国際統計、データ、調査、分析に基づき、国ごと、地域ごとの直面するヴァリュー・チェーン・リスクを定量的に分析・調査しました。

本調査は、APEC でのプロジェクトを開始するにあたり、先行的に行ったものであり、今後、本調査結果も踏まえつつ、更に各分野の専門家、調査・研究機関、国際機関等のインプットも得ながら、内容を精緻化・高度化していく方針です。
本先行調査の結果については、別添を御参照下さい。

（別添資料）経済産業省平成２４年度委託事業「ヴァリュー・チェーン・リスクに係る定量分析調査」（指標化の考え方及び結果概要）（株式会社日本総合研究所が受託）

（本発表資料のお問い合わせ先）
通商政策局アジア太平洋地域協力推進室長 笹路 健
担当者：（APEC 室） 谷澤、杉本、平井
（国際経済課） 下井
電 話：03-3501-1511（内線 3061～3065）
03-3501-1407（直通）